

倉敷商6年ぶりV 10回タイブレーク 光南に6-5

【倉敷商—光南】延長10回の豪雨の中、三塁、捕手、中継ぎで三塁は、野が住道、8-4とする。捕手、野、倉敷商、スガト



春の岡山県高校野球大会（山陽新聞社後援）最終日は3日、倉敷市のマスカットスタジアムで決勝が行われ、倉敷商が延長10回タイブレークの本に光南を6-5で下して6年ぶり9度目の優勝を飾り、中国大会出場を決めた。

倉敷商はタイブレークの延長10回、敵失と録尾の中継ぎ

春の岡山県高校野球

で2点を勝ち越し、3番手大塚がその裏の無死満塁を併殺の間に1失点に抑えた。光南は昨年に続き決勝で涙をのんだ。

中国大会は6月1、2、4日、岡市の龍岡一人記念球場などで開かれる。倉敷商は6年ぶり12度目の出場で、初戦は広島4位校と対戦する。

伝統校底力 主力不振を下級生カバー

運も実力のうちといふ。だが、一回、先頭の佐々木、三時間半に迫る激闘、岡が内外野の間に落とす全塁とく、制した倉敷商、二塁打を放つと、録尾がの録尾監督は「運が良かった」とため息に近い言葉を吐いた。2年生の3塁打つぎやきも録尾らした。ベストチームとはほど遠い内容でも負けない。現世の中継ぎで結果的に決定的に押し上げた録尾から前評判の高かった。本命、倉敷商の頂点をもちとつて優勝し、ダブル主将を務める山野と山下は「反り高からば」、一回はホットコーナーを守りながら、切れ目のない山下がカバールし切れず、点を先制される。中継ぎの名を連ねる録尾でも見せ場をつくれず、七回は敵三塁で連続三振に倒れた。球運を引き寄せたのは、録尾が求める下級生だ。

またしてもあと二歩、光南は及ばなかった。春の決勝は近年を含め8連敗、守備のほころびが響き、前年自らの1988年以來となる度目の栄冠を取りこぼした。先制直後の二回、先頭の平凡な飛球を内外野の連携がうまくとれず二塁打としてしまいいけられる。七回はバント処理のエラーで勝ち越し点を奪った。夏に向いてもう一段階レベルアップしろ、ということだ。

順位	学校名	試合数	勝	敗	引分け	打点	得点	打率	守率
1	倉敷商	10	7	3	0	100	80	0.330	0.250
2	光南	10	6	4	0	90	70	0.300	0.240
3	岡山県立	10	5	5	0	85	65	0.280	0.230
4	広島	10	4	6	0	75	55	0.260	0.220
5	山口	10	3	7	0	65	45	0.240	0.210
6	徳島	10	2	8	0	55	35	0.220	0.200
7	香川	10	1	9	0	45	25	0.200	0.190
8	高松	10	0	10	0	35	15	0.180	0.180

と岡野監督の表情は険しい。今大会決勝の打撃は最大の勝負どころで一本が出なかった。延長10回に小谷の中継ぎで無死満塁をつくるも併殺の間に1点止まり。最後は先制三塁打の主砲野が倒れ、4番として打ち上がった録尾をかきかき、自分が勝たせろ、ということだけ考え、目いっぱい投げた。録尾は上から投手陣は録尾、録尾と力投、悔しさを知った録尾の奮起を更に期待したい。（天取賢一朗）

またしてもあと二歩、光南は及ばなかった。春の決勝は近年を含め8連敗、守備のほころびが響き、前年自らの1988年以來となる度目の栄冠を取りこぼした。先制直後の二回、先頭の平凡な飛球を内外野の連携がうまくとれず二塁打としてしまいいけられる。七回はバント処理のエラーで勝ち越し点を奪った。夏に向いてもう一段階レベルアップしろ、ということだ。

直後の三回に佐々木、録尾、満塁の各連続長打で追い付くなど、実力を示した。光南は石見守備を映し出す。一回、1人1人を投げ抜いた村上の方角も実力。十回の録尾、七回の通時失策など、守備のほころびが響いた。（相模心也）

守備にほころび 光南一歩及ばず

春の岡山県高校野球 あす決勝

総合力の倉敷商か

9年ぶり公立校対決

光南個の力で打開

春の岡山県高校野球大会（山月1日開幕・広島県）の出場権
陽新聞社後援）は3日午前10時を懸けた頂上決戦を展望する。
から、倉敷市のマスカットスタジアムで倉敷商と光南の決勝が
行われる。ノーシート同士の決
勝は実に15年ぶり。中国大会（6

今大会の戦績

【倉敷商】	【光南】
1 岡山 8-3 美作	1 安芸 5-1 大田
2 岡山 3-2 岡山	2 倉敷 8-2 倉敷
準々決勝 3-2 岡山	準々決勝 3-1 倉敷
準決勝 9-5 岡山	準決勝 3-4 倉敷

は2009年（倉敷商7-2
商大付）以来で、公立校同士
は15年（倉敷商8-7玉島商）
以来9年ぶり。総合力では倉
敷商に分があるが、光南には
個の力で打開できる攻守の主軸
がいる。

倉敷商は4試合のチーム打率
が3割1分1厘。山下、広野、
佐々岡の中軸は計7長打と破壊
力がある。下位の松岡と佐藤で
計7打点と切れ目がない。継投
も機能し、3戦で先発した和田
虎が計14回でいまだ無失点。主
に抑えを担う背番号1の大坪も
準決勝で2回無失点と調子を上
げてきた。

光南は2完投し防壁率1・00
のエース村上が中5日で臨める
ことが大きい。左腕石井の復帰
も好材料。チーム打率は2割7
分と高くないが、33安打のうち
4割近い13本が長打。準決勝の
勝ち越しソロを含む5長打の主
砲牧野が引っ張り、打率5割超
の伊勢田は全試合で打点を挙げ
る。

（種垣心也）

◆二回戦

倉敷商 “あの日”の雪辱

昨夏岡山大会決勝 山陽との再戦制す



【倉敷商・山陽】3回表倉敷商2死一、二塁。佐々岡が中継ぎに先制の2点一塁打を放つ。捕手名古岡、倉敷マスカット

肌寒い曇天に、暑かったあの日、が思い返される。昨夏の岡山大会決勝の再戦となった昨日のカード。倉敷商が山陽にリベンジを果たした。三回2死から、夏の悔しさを共有するクリンアップの思いが伝わった。由子チームでも主力だったアール主将の広野、山下が連続四死球でチャンスメイク。右打席に立った佐々岡は前主将の死に、敵を取つてくる」と誓っていた。甲子園でも活躍した山陽のエース三宅に追い込まれながら、変化球に食らい付いたライナーは、なんと伸びて中越え2点二塁打に。「気合が通じた」と塁上で拳を突き上げた。

対照的に、9カ月前の決勝でも先発マウンドに立った山陽は冷静を賣っていた。「夏は気負いもあった。相手を意識せず、投げるべきところに投げられた」と話す和田虎だ。自己最速の140km/hを計測した直球を軸に両サイドと低めに集めた。回無失点。最後のピンチは夏に決勝打を浴びた左藤増田が切り抜けた。

次戦の岡山東西も昨秋の県大会初戦で敗れた因縁の相手。佐々岡はもう一度たりとも負けたくない」と熱く、和田虎は「まだまだ通過点」とクールに雪辱を見据えた。(相垣心也)

▽2回戦

倉敷商	003000000000	28
山陽	000000000000	2

(倉) 和田虎、大塚、増田、
山陽 (美) 三宅、横山、名古岡、
反橋

▽三塁打 佐々岡、廣野(倉)
廣野、平井(山)▽暴投 和
田虎(倉)横山2(山)

【評】倉敷商は三回2死一、二塁から佐々岡が先制の中越え2点打。松岡が内外野の間に落とす適時打で続いた。先発の和田虎は要所を締め、7回7安打無失点。

山陽は11安打を放ちながら犠打失敗や走塁死が響き、平井の適時二塁打などによる九回の2点とまりだった。(相垣心也)

◆一回戦

倉敷商が主導権

倉敷商121000021138
美作000200000138

(倉) 和田虎、廣野、増田、大塚、妹尾
(美) 広瀬、岡田、赤木、山下

山陽 山下(倉)鈴木(美)
▽三塁打 山下(倉)鈴木(美)
▽二塁打 佐々岡、高木、山下(倉)

【評】倉敷商が序盤で主導権を握った。一回は四球や敵失を絡め、無安打で先制。二回は佐々岡の左越え二塁打を足場に佐藤のスクイズなどで2点を加え、終盤も小刻みに加点した。守っては4投手の継投でかわした。美作は2点を返した四回、なお1死一、二塁で後続が倒れた。(松原悠)

◆大会前記事 (展望)

20日から春の岡山県高校野球

組み合わせ決まる

20日に開幕する春の岡山県高校野球大会(山陽新聞社後援)の組み合わせ抽選会が17日、倉敷市であり、別表の通り対戦カードが決まった。

昨秋の県大会8強と地区予選を突破した東部、西部各1、北部2校の計24チームが出場。5月3日まで、倉敷市のマスカットスタジアムと市営球場、美咲町のエイコンスタジアムで中国大会(6月1日・4日・広島県)の出場1校と

今夏の岡山大会のシード権を争う。開幕カードを戦う就実と笠分大雅主将(3年)が選手賞が参加して行われ、就実の正開幕カードを戦う就実と笠分大雅主将(3年)が選手賞を戦う。昨秋優勝の創志学園が選手賞を戦う。

組み合わせ	20日	21日	27日	28日	5月3日
理大付	マ 9:00	マ 9:00			
倉敷商			マ 9:00		
山陽	マ 11:30	マ 11:30			
東商			マ 9:00		
山陽	倉 9:00	倉 9:00			
西大	倉 11:30	倉 11:30			
山陽			マ 10:00		
山陽	倉 14:00	倉 14:00			
山陽	マ 9:00	マ 11:30			
山陽	倉 9:00	倉 9:00			
山陽	マ 14:00	マ 14:00			
山陽	倉 11:30	倉 11:30			
山陽	マ 14:00	マ 14:00			

展望

今春の甲子園に出場し、創志学園が一步リードも、上位勢の実力は拮抗(さつごう)する。対抗馬としてまず挙がるのが山陽、理大付、倉敷商。

創志 一步リード

いずれも投手層が厚く、新基準の低反発バットが導入されて初となる県大会で優位に立てそうだ。創志学園は18歳以下の日本代表候補に選出された左腕山口、主将豊島を中心に経験値を上げた。

2回戦敗退だったセンバツ後、三拍子そろった外野手の離谷が内野に挑戦するな、金沢の左腕3人が順調に成長を遂げ、強打の捕手榎木が軸の打線も粒がそろって、投打のバランスで秋の対戦でもあと一步ま

投手層厚い対抗馬 山陽や理大付、倉敷商注目

田に次ぐ存在として丹羽が台頭。持ち味の機動力は「投高打低」が予想される中で強みになる。山陽と倉敷商をはじめ夏のシードが懸かる8強争いはし烈。学芸館は好右腕の山本を擁する関西と同じゾーンに入った。好打者坂爪がいる倉敷商と、速球派村上の光南の対決もありそう。

(稲垣心也)

[注] 太字はシード校。マはマスカット、倉は倉敷市営、イは美咲・エイコンの各球場